

20年目のリニューアルで住み心地と愛着がアップ

宮城県 O邸

■震災後も大切に住み続けてきた住まい

1997年、石巻市に建てられたツーバイフォー住宅のO邸は、2011年の東日本大震災でも構造躯体に影響はなく、耐震補強の必要もありませんでした。「いい家を長く使うためには定期的なメンテナンスが大切」と語るOさん夫妻は、築10年で行った外壁塗装に続き、築20年の節目として「可能な範囲で手をかけたい」と、リビングダイニングと水まわりのリニューアルを実施しました。

■快適さに加え、愛着が深まるリフォーム

キッチンや浴室、洗面台などの水まわりは最新設備に一新。「キッチンの水栓は自動センサー付き、レンジフードは10年間掃除不要で、この20年間の進化に感動します」とOさん夫妻。袖壁の撤去や収納の充実により、開放感を増したリビング・ダイニングキッチンはウィリアム・モリスの壁紙、カーテンでシックな趣になりました。「新築当時はシンプルが主流で選ばなかったモリスを今回コーディネートできてうれしい」と奥様。壁面には家族全員の誕生年のイヤープレートを飾るフレームも設けられました。「この家でずっと幸せに暮らせたらいいですね」と話されます。



テレビ一体型のシステム収納やシステムキッチンの面材を、腰壁や開口部まわりのモールディング、廻り縁と同じ落ち着いた木目デザインに統一。既存の意匠を活かしたフルコーディネートとなった。

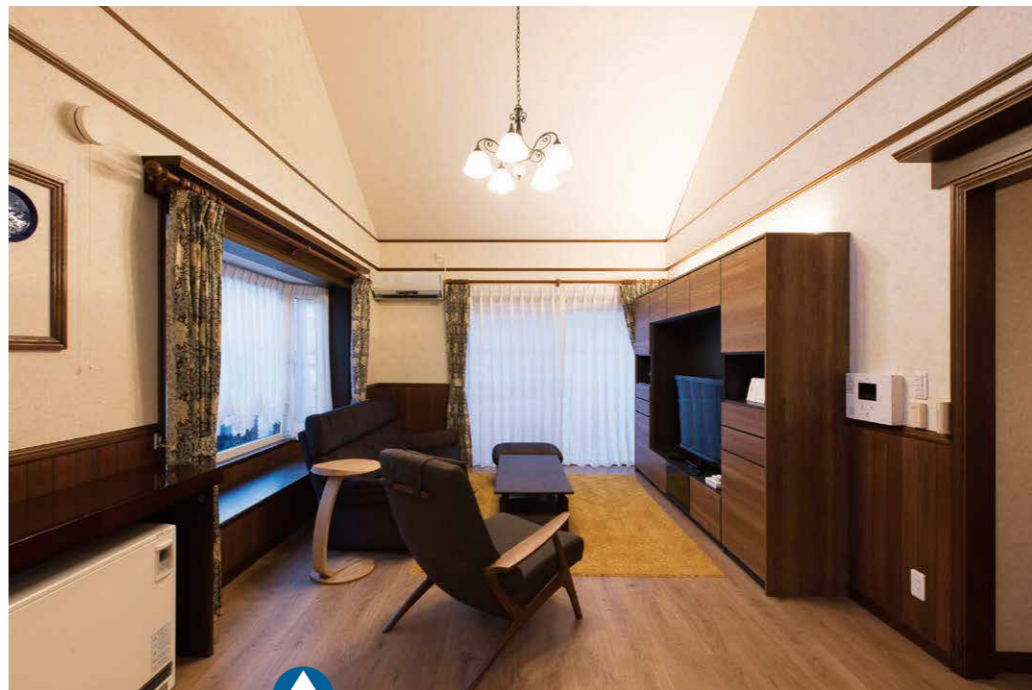


(左) (中) LDKのウィリアム・モリスの壁紙とカーテン。システム収納上部に組み込まれた間接照明により、壁紙の模様が浮かび上がる。(右) 大工さんに作ってもらった木のフレームのなかに、夫妻の宝物である、家族それぞれの誕生年に製造されたロイヤル コペンハーゲンのイヤープレートコレクションを絵画のように飾っている。



フローリングは重ね貼りによるリフォームを実施。

コンロ前にあった壁を撤去し、開放感アップ。最新のシステムキッチンと収納スペースの増加で「作業がラクになった」と奥様。



リビングは内装をリニューアルし、機能性・デザイン性の高いシステム収納を設置。愛犬がいるので、汚れや傷がつきにくいフローリング材が選ばれた。

After
Before

DATA

リフォーム年	2017年
築年数	20年(リフォーム時)
規模	2階建て
建物面積	189.02㎡ (57.18坪)
リフォーム面積	71.21㎡ (21.54坪)

リフォームのプロが語る

構造補強が不要なら暮らしの質を向上させるリフォームに注力できる

2011年の東日本大震災に遭遇した宮城県石巻エリアですが、ツーバイフォー工法によるO様邸に大きな被害はありませんでした。ご家族は震災後も住み続けてこれ、今回、建て替えでも耐震補強でもない、設備・内装のグレードアップリフォームを行いました。

対面式キッチンはフルフラットタイプに取り替えるため、壁を撤去できるか慎重に検討して構造的に問題がないことを確認し、お客様の要望に応えることができました。当社は、今年で創業63周年。高いデザイン提案力を活かし、今後も、ご家族が愛着を持って長く住み継いでいけるリフォームをご提案していきたいと思えます。

(奥北洲 作間幹雄氏)

O邸設計・施工 / 奥北洲



トイレにも輸入デザインの壁紙を使用。ブルーの爽やかなイメージのデザインが選ばれた。

(左) 浴室は最新のシステムバスにリニューアル。
(右) 洗面室は内装、洗面台を一新し、全体的にリフォーム。背の高いご主人も使いやすいように、洗面台の下に台を付けてカウンターを高くした。



リフォーム前の浴室。